

過疎の地の伝道拠点を守る

能登の大地震から一年七ヶ月

〇七年三月二五日、日曜の朝九時三三分、能登半島をマグニチュード六・九の大地震が襲ってから二年七月。輪島の街は、どこどころ虫食いのように穴が空いている。全壊したか、みなし全壊と判断されて取り壊された空き地だ。

修工事が終わり、外壁も塗り直された。無牧となっていた輪島教会は、本年四月以来、隠退教師の大隅啓三牧師が牧師館に住み、礼拝を守っている。

その日の新聞は「輪島の人口は前年比七〇〇人減」と報じていた。能登一帯で人口減は続いているが、朝拝十四、五人、夕拝四、五人、祈祷会八人と熱心な信徒に勇気づけられる。新任教師の赴任まで頑張りた

地震直後、教会の建物被害は比較的小規模と言われたが、専門家の目が入ると、土台、地盤の亀裂、建物の歪み、地盤液状化などにより、改築の診断が下ることが多かった。

能登半島は、南北一〇〇km、東西30〜50km、東京都にほぼ匹敵するという広大な半島で、教団の三教会、一伝道所が点在する。いずれも小規模教会だが、三教会は、九〇年から百年という歴史の古い伝道の拠点である。

伝道所には内城恵牧師が、毎週四〇分かけて羽咋教会から通っている。礼拝出席三〜五人だが、中心部の町立病院(元小学校、町役場跡)の正面という地の利もあり、西海岸の伝道の拠点としての将来が期待される。羽咋教会でクリスマスに一〇年ぶりの受洗者が与えられるが、富来伝道所に通っていた人だった」と内城牧師は喜びを隠し切れない様子だった。

基礎に亀裂、梁が折れて改築した七尾教会牧師館も今年一月、完工し、今年度の被災教会再建工事は、順調に進捗している。七尾教会の釜子達雄牧師は「能登の教会は、とも、思いはあっても自分たちだけで改築する力はないから、再建作業を通じて、教区、教団の連帯を痛切に感じた」と語っている。

か迷っていた羽咋教会は、信徒から900㎡の土地提供の申し出を受けて改築に踏み切ることとした。両教会の会堂建設は、いずれも二〇一〇年度の工事で着工が予定されている。支援募金は、いま九五〇九万円(〇八・一〇・三十一現在)と目標一億五千万円の六二・二%に達し、これまでに六四九二万円を諸教会に送ることが出来た。今後の会堂建設のために、目標の完遂が必要となる。

過疎の地の伝道の拠点を守るために、教団の連帯と一致を証しするために、どうかクリスマス献金で能登半島地震被災教会支援募金を覚えて下さいますように。

ユアル・マイノリティ差別をこれ以上繰り返さないために、対話を重ね、具体的な取り組みを提案する件



12 月、完成記念礼拝の行われる輪島教会牧師館



完成間近の富来伝道所会堂

救援募金のお願い

◎口座名
能登半島地震被災教会支援募金
◎口座番号
00140-8-706607

(永井清陽報)

第36回教団総会議決メモ

1. 第36回日本基督教団総会議事日程承認に関する件	承認	24. 2009年度教団歳入歳出原予算に関する件	可決
2. 教団総会議長選挙に関する件	承認	25. 2006年度部落解放センター決算承認に関する件	承認
3. 教団総会副議長選挙に関する件	承認	26. 2007年度部落解放センター決算承認に関する件	承認
4. 教団総会書記選挙に関する件	承認	27. 2008年度部落解放センター予算に関する件	可決
5. 教団総会特別委員選任に関する件	承認	28. 2006年度出版局決算承認に関する件	承認
6. 常議員選挙に関する件	承認	29. 2007年度出版局決算承認に関する件	承認
7. 教団総会常任委員選任に関する件	承認	30. 2006年度年金局決算承認に関する件	承認
8. 宗教法人「日本基督教団」責任役員他選任に関する件	承認	31. 2007年度年金局決算承認に関する件	承認
9. 教団総幹事選任承認に関する件	承認	32. 2008年度年金局財務計画案承認に関する件	承認
10. 教団総幹事選任に関する件	承認	33. 2009年度年金局財務計画案承認に関する件	承認
11. 出版局長選任承認に関する件	承認	34. 宣教委員会を廃止し常設専門委員会を常設委員会とする件	可決
12. 出版局長選任に関する件	承認	35. 教規施行細則変更に関する件	可決
13. 出版局理事・監事承認に関する件	承認	36. 教規施行細則訂正に関する件	可決
14. 年金局理事・監事承認に関する件	承認	37. 日本基督教団とアメリカ合衆国長老教会との宣教協約合意書に関する件	可決
15. 部落解放センター運営委員選任に関する件	承認	38. 日本基督教団とアメリカ改革派教会との宣教協約合意書に関する件	可決
16. 常設委員会および常設専門委員会委員選任に関する件	承認	39. 二合同のとなえおしと実質化」特設委員会を設置する件	可決
17. 宣教研究所委員選任に関する件	承認	40. 『合同のとなえ直し』を自分のこととして聴き直し、再度合同関連議案を提出するために、合同記念の日を2月25日に設置する件	否決
18. 日本基督教団会堂共済組合役員推薦に関する件	承認	41. 日本基督教団第35回総会期第三回常議員会における「北村慈郎教師退任勧告決議」に抗議し、取り消しを要望する件	否決
19. 教団関係学校及び関係団体理事・評議員等推薦に関する件	承認	42. 北村慈郎教師に対する常議員会決議教師退任勧告を撤回する件	否決
20. 2008年秋季教師検定試験合格者承認に関する件	承認	43. 第35総会期第三回常議員会は、山北宣久議長からの提案「北村慈郎教師に対する教師退任勧告を行う件」を可決したが、教師退任勧告を取り下げ、全教団的に聖餐理解を深めるために取り組むことを求める件	第1項について否決 第2項について廃案
21. 2006年度教団歳入歳出決算承認に関する件	承認	44. 教団第35総会期第五回常議員会における「北村慈郎教師に対する戒規申立を行う件」の決議の無効を確認する件	可決
22. 2007年度教団歳入歳出決算承認に関する件	承認	45. 聖餐のあり方について慎重かつ十分に論議する場を教団内に設置する件	廃案
23. 2008年度教団歳入歳出実行予算に関する件	承認	46. 聖餐についての自由な協議の場を設定する件	廃案
24. 2008年度教団歳入歳出実行予算に関する件	承認	47. 米軍再編に抗議し全国の軍事基地撤去を求める声明を内外に向かって表明する件	廃案
25. 2007年度部落解放センター決算承認に関する件	承認	48. 「日本伝道150年」記念行事開催を中止する件	廃案
26. 2007年度部落解放センター決算承認に関する件	承認	49. 日本基督教団「日本伝道150年記念行事」に琉球伝道163年」を加え、沖縄教区へも配慮し、検討されることを求める件	廃案
27. 2008年度部落解放センター予算に関する件	可決	50. 日本基督教団が、同性愛者をはじめとするセクシ	廃案
28. 2006年度出版局決算承認に関する件	承認	51. 日本基督教団は、第35回日本基督教団総会期第三回常議員会において「差別発言問題」に真摯に向き合い、「同性愛者をはじめとするセクシユアル・マイノリティ」の人権問題を宣教の課題として取り組む件	廃案
29. 2007年度出版局決算承認に関する件	承認	52. 日本基督教団が、自ら引き起こし置き去りにしている「同性愛者、セクシユアル・マイノリティへの差別事件」に向き合い、問われていることに応答してゆくための具体的に取り組む件	廃案
30. 2006年度年金局決算承認に関する件	承認	53. 教団における会議制の回復を求める件	廃案
31. 2007年度年金局決算承認に関する件	承認	54. 教団総会議員数に関する教規変更に関する件	可決
32. 2008年度年金局財務計画案承認に関する件	承認	55. 各種センターの取り扱いについての再検討を行う件	廃案
33. 2009年度年金局財務計画案承認に関する件	承認	56. 常議員会選挙方法に関する件	可決
34. 宣教委員会を廃止し常設専門委員会を常設委員会とする件	可決	57. 教団内諸教会の信頼関係を守り、真実の対話の道を確認する件	否決
35. 教規施行細則変更に関する件	可決	58. 日本基督教団信仰職制委員会による答申「伝道所での洗礼執行について」(2008年7月4日付)の撤回を求める件	可決
36. 教規施行細則訂正に関する件	可決	59. 出版局決算を再検討する件	廃案
37. 日本基督教団とアメリカ合衆国長老教会との宣教協約合意書に関する件	可決	60. 総会議事録承認に関する件	常議員会付託
38. 日本基督教団とアメリカ改革派教会との宣教協約合意書に関する件	可決	61. 第37回日本基督教団総会開催に関する件	常議員会付託

常議員(教職)

プロフィール

- (1) 誕生年
(2) 出身地
(3) 出身神学校
(4) 牧会歴
(5) 趣味
(6) モットー
(7) 抱負



◎五十音順

石橋 秀雄



関東教区
越谷教会

(1) 1944 年
(2) 満州
(3) 東京神学大学
(4) 鴻巣教会、越谷教会
(5) テニス・スキー、幼稚園の子どもと遊ぶこと
(6) 幸も不幸も遊びに楽しむ
(7) 教団の課題は一致と連帯だ。しかし、どこにおいて一致しているかが問われる。公同教会として一致し、公同教会の形成のために仕えたい。

後宮 敬爾



北海道
札幌北光教会

(1) 1956 年
(2) 京都府
(3) 同志社大学
(4) 土佐教会、千歳栄光教会、札幌北光教会
(5) 多趣味
(6) 希望
(7) 教団の中で、対話と出会いの枠組ができればと願っています。祈りつつ参りたいと思います。

梅崎 浩二



九州教区
大牟田正山町教会

(1) 1961 年
(2) 兵庫県宝塚市
(3) 関西学院大学、ワートパーク神学大学院(米国)
(4) 飯塚教会、犀川教会
(5) 料理
(6) 諦めなければ辿り着く
(7) 原理主義的な単純・一元化の発想と行動を排し、複雑な課題に粘り強く向き合い続ける教団の形成を目指したく願います。

北村 慈郎



東海教区
愛宕町教会

(1) 1952 年
(2) 石川県金沢市
(3) 東京神学大学
(4) 茨木教会、清水教会
(5) 野球
(6) 信仰に立つ
(7) 教団は、信仰において二分している。お互いが信ずるところに立つために如何にすべきかが課題と思っている。

北村 慈郎



神奈川教区
紅葉坂教会

(6) 与えられた仕事は責任をもつて果たす。他者への偏見を出来る限り持たない。
(7) 相互承認を前提にし、立場考えの違つ者が、今総会期の常議員会において事柄に即した議論を積み重ね、未来を模索して行きたい。

小橋 孝一



東京教区
新島教会

蔵寺ニュータウン教会、茅ヶ崎恵泉教会、霊南坂教会、新島教会
(5) 歴史書(特に日本史)を読む。
(6) 焦らず、諦めず、執念深く。
(7) 島の教会の声と力を教団に。教団の声と力を島の教会に。

高橋 潤



中部教区
中京教会

(1) 1958 年
(2) 東京都
(3) 東京神学大学
(4) 静岡教会、蒲原教会、中京教会
(5) 草木の手入れ、映画鑑賞
(6) 「祈りの法則は信仰の法則」
(7) 心にいたっている具体的な計画はありませんが、混沌とした現状に憂えつつ、教会としての秩序を回復すべき責任が与えられたと自覚しています。

佃 真人



兵庫教区
宝塚教会

(6) 神に仕えて隣人を愛し、神を愛して隣人に仕える
(7) 常議員として二期目の重責を担わせていただきます。誰かを貶めたり切り捨てるのではなく、互いに支えあう豊かな対話がなされ、特に地域にあって教団を支えてくださる教会・伝道所の思いが届き、生かされる事を願います。

長山 信夫



東京教区
銀座教会

(6) 主とその教会に仕える
(7) 日本伝道150年の史、特に、敬虔な信仰、公同の精神を大切に、信仰義認と聖化の福音を鮮明化する議論に励み、教団紛争以来の教師検定試験の未解決の課題、違法聖餐執行教師の是正に取り組みたいと願っています。

原田 謙



西東京教区
更生教会

(6) 「祈りの法則は信仰の法則」
(7) 聖書信仰に固く立つて、時代を見据えつつ、時代に流されないものでありたい。何故なら教団の歴史を顧みるに、何とその時代の風潮に流されて来たことか！
本来の聖書信仰に固く立ちたい。

藤掛 順一



神奈川教区
横浜指路教会

(7) 日本基督教団がその信仰告白、教憲・教規に基づいて、キリストの体として形成されていくために仕えたい。
(6) 責任を果たす
(5) 歌つこと(讃美歌もカラオケも)
(4) 富山鹿島町教会、横浜

松村 重雄



奥羽教区
弘前南教会

(6) 愉快に楽しく、忍耐強く
(7) 日本基督教団信仰告白を重んじ、第二次世界大戦下における日本基督教団の責任についての告白の指し示す方向を大切に受け止め、教団成立の沿革の加筆修正の作業に一日も早く取り組みたい。

三浦 修



関東教区
埼玉和光教会

(5) 旅行・短歌・手品
(6) 神と隣人に伝えながら主イエスの宣教大号令に応えたい。
(7) 第36回教団総会を終えて思うことは、「意見の違いを認めつつも対話を継続し、新しい展望を切り拓いて行きたい」と考えます。

向井 希夫



大阪教区
大阪聖和教会

大型スクーターでのドライブ。
(6) 弱さや違いを認め合うことのできる教会、社会の実現。主の愛に応えるための正義と公平の実現。
(7) 主を信じる者同士が謙虚に互いを尊重しつつ、「違いは豊かさ」を実感できる合同教会を形成するために奉仕できればと願っています。



讃美歌を歌う参加者たち



記念礼拝において説教を行う鄭然元総会長

教団にとつてのベストパートナーたる在日大韓基督教会(以下KCCJと記す)の宣教一〇〇周年記念大会が二〇月十三日午後一時から四時半まで大阪女学院ホールチャペルで開催された。韓国・北米からの来賓を含め二二〇〇人の参加であった。大盛況そのもの。教団からは高橋潤中部教区、望月修治京都教区、向井希夫大阪教区の各総会議長、東谷誠部落解放センタ―委員長らの顔が見えた。

「感謝の一〇〇年、希望の一〇〇年」との主題(一テサロニケ5章18節)、「遣わされたこの地で宣教に参与する教会」との副題(創世記45章5節)が掲げられていた。開会前から凄じ熱気で、

それこそ立錐の余地がない。そんな中四二名からなる吹奏楽団(大阪教会)の演奏が期待感を増進させ盛り上げていく。

第一部 記念礼拝

副総会長・崔栄信(チソン・ユン)牧師の司式のもと礼拝が進行していく。まず五つの地方会、九六教会の代表がフラカ―ドを掲げ入場行進、全員子供たちである。

周年にちなんで二〇〇名を募集したが実際は定員オーバー。力強い限り! そのちに鄭然元(チソン・ユン)総会長(大阪教会牧師)による説教。これは主題聖句によりKCCJの過去・現在・将来を貫く神の経綸を明確に示すものであった。

第二部 記念式典

金武士(キム・ブス)牧師による記念式典は崔正剛(チソン・ユン)宣教一〇〇周年記念事業実行委員長の挨拶で開始。

朴寿吉(パク・スギ)総幹事による来賓紹介ののち四名の祝辞。駐日本大韓民国特命全權大使が、教団が重荷を負わせてしまった歴史をも目のあたりにして悔改を迫られる。そして「にも拘らず」生きた交わりを与えられている恵みを特別に感謝せられる次第だ。

第三部 祝賀会

リラックスムードの中で祝賀会が展開された。教会学校生徒の作文発表と合唱。ピアノ・バイオリン・チェロのアンサンブル。女性連合会の大合唱。テノール独唱。民族舞踊。連合聖歌隊の爆発的合唱は統一を願う「ウリエ・ソウォン」に結晶する。

主にある平和と和解のビジョン

山北宣久

「愛します 主よ あなたを 捧げます 全てを あなたに ―中略― 私達がここに立っている理由(わけ)を今 心に……かみ締めて/共にゆくその道は約束の地 ついてゆきます 主よ 主よ 主よ/わたしの知らない時代(とき)の中で 深く根は地にのびゆき /わたしの生きているこの時代(とき)に 共に手をとりあつて/信仰と希望とこの愛の手で土を握り締め 希望の果実を实らせる」

主にある平和と和解の働きを担うべく、次世代はしっかりととらえられている。KCCJと共に歩み、宣教に参与する教会を形成して行きたいとの願いをさらに熱くさせられた。

主よKCCJとUCCJをみ栄えのため使い給え!

ユースミッション 2008 ▶参加者の感想

2008.8.12-8.8



マリマリティ イエス様(イエス様ありがとう)と歌いながら、於奈良高畑教会

ユースミッションという新たなスタート

吉祥寺教会 中村舞

今回、日本基督教団と台湾長老教会の青年が交流を持つ会である、ユースミッション2008に参加できたことを神様に感謝いたします。

七月三日から八月八日までの一週間あまり、私は、台湾長老教会から派遣されてやってきた青年七名と共に過ごしました。ユースミッションに参加する前は、果たしてどんな会になるのか、言葉や文化の違いを超えて両国の青年が交流を深める事ができるのか、青年が考えるプログラムはうまく行えるのか、などなど様々な心配事がありました。しかし、始まってみると私の不安は消え、ただ楽しさと充実感でいっぱいになりました。

ユースミッション2008は、前半の七月三日から八月三日までが東京・横浜を拠点とし、後半の八月四日から六日までは神戸のスタートであったと確信しています。

私は、このユースミッションが私にとつての新たなスタートであったと確信しています。

六甲山YMCAにてカンファレンスを持ちました。前半の東京・横浜を拠点とした企画には、SCFでの歓迎会や、横浜のキリスト教史跡見学、ホームステイなどがありました。私は、どの企画でも印象に残るよい交わりが与えられたと実感しています。

後半の八月四日から七日までは六甲山YMCAにてカンファレンスを行いました。カンファレンスでは、オリエンテーリング、ゲーム、グループディスカッション、ピザ作り、写生、礼拝準備などを行いました。その中でも、特に、グループディスカッションと礼拝の準備には多くの時間が割かれ、最終日の夜には、自分たちが試行錯誤をして準備した礼拝で神様を賛美することができました。

プロテスタント日本伝道 150 年初週祈禱会

- ◎日時＝ 2009 年 1 月 5 日～ 10 日
(午後 6 時～ 7 時半、
10 日は午後 2 時～ 3 時半)
- ◎場所＝《 5 日》銀座教会
《 6 日》富士見町教会
《 7 日》小石川白山教会
《 8 日》阿佐ヶ谷教会
《 9 日》高井戸教会
《10 日》東京山手教会
- ◎主催・問合せ＝
東京信徒会を中心に組織したプロ
テスタント日本伝道 150 年初週祈
禱会実行委員会
TEL 0422 - 47 - 1827
(岩沢たかし)

- 「兵庫県南部大地震記念の日」追悼礼拝
- ◎時＝ 2009 年 1 月 17 日 (土) 16 時～ 18 時
- ◎所＝神戸栄光教会
- ◎主催・問合せ＝兵庫教区
TEL 078 - 856 - 4127

東京神学大学 第 40 回 教職セミナー

〒 181-0015 三鷹市大沢 3-10-30 ☎ 0422 (32) 4185

- ◎主 題 「律法と福音」
- ◎日 時 2009 年 1 月 13 日 (火) ～ 15 日 (木)
- ◎会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- ◎開会礼拝 教授：近藤勝彦
- ◎主題講演 「律法と福音」 学長：山内 眞
- ◎シンポジウムⅠ 教授：大住雄一、教授：小友 聡
准教授：中野 実、常勤講師：焼山満里子
- ◎シンポジウムⅡ 教授：棚村重行、教授：関川泰寛
准教授：ジャンセン、常勤講師：小泉 健
- ◎特別講演 「麻痺した手・足の電子的制御―創造主の技に学ぶ―」
東北学院大学学長：星宮 望
- ◎シンポジウムⅢ 教授：近藤勝彦、教授：芳賀 力
教授：朴 憲郁、教授：神代真砂実
- ◎閉会礼拝 教授：山口 隆康
- ◎会 費 25,000 円
- ◎申 込 案内が届いていない場合は、郵便振替(00160-5-188941 東京神学大学学外活動委員会)に会費を振り込んで下さい。振替用紙の通信欄に、性別、生年月日、教会名(東神大卒の方は卒業年も)明記して下さい。
- ◎申込締切 12 月 6 日 (土)
- 問合せは学外活動委員会まで。参加資格は原則として現在教職である方に限ります。日本基督教団外の方も歓迎します。